

(希少な動植物の出現状況)

1. 希少な動植物について—環境影響評価書における報告の位置付け

希少な動植物の定義とは『天然記念物指定種やレッドデータブック、レッドリスト等の掲載種、その他貴重種・重要種に相当する種』としている。

環境影響評価書において「沖縄県知事の環境影響評価準備書に対する意見」注) に対し、事業者の見解として「工事中に天然記念物指定種や「レッドデータブック」、「レッドリスト」等の掲載種、その他貴重種・重要種に相当する種で、環境影響評価書に記載されている動植物種以外の種の存在が埋立てに関する工事の施工区域内若しくはその近傍で確認された場合には、関係機関へ報告するとともに十分調整を図り、その保全に必要な措置を適切に講じる」こととなっている。

ここでレッドデータブック、レッドリスト等とは、沖縄県の地域特性が考慮された「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物」（レッドデータおきなわ）、環境省のレッドリスト（環境省レッドリスト及び環境省海生生物レッドリスト）と水生生物を対象とした「日本の希少な野生生物に関するデータブック（水産庁編）」がある。また、「その他貴重種・重要種に相当する種」とは、法律として規定された「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の「国内希少野生動植物種」、「国際希少野生動植物種」に選定されている種が該当すると考えられる。

環境影響評価書の調査以降、希少性を判断する根拠となる環境省のレッドリスト及びレッドデータおきなわの改訂がなされていることから、新たな知見に基づき、令和6年度に出現した希少な動植物について報告する。なお、改訂状況は次表に示すとおりであり、環境省のレッドリストについては、令和2年3月にレッドリスト2020が公開されている*。レッドデータおきなわについては、平成29年5月に公開された第3版動物編に続き、平成30年6月に菌類・植物編の第3版が公開された。また、令和6年2月には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令の一部を改正する政令」が改正施行され、国内希少野生動植物種が追加となっている。

※環境省のレッドリストについては、令和7年3月18日に第5次レッドリストが一部（植物、菌類）公表されているが、大半の調査実施時点では公表されていなかったことを考慮し、ここでは含めていない。
なお、第5次レッドリストについては、令和7年～令和8年度にかけて順次公開予定とされている。

注) 沖縄県知事の環境影響評価準備書に対する意見（希少な種に関する抜粋）

I. 総括的な事項に関すること（抜粋）

- (1) 埋立計画地北側の砂質性干潟及び海草類の存在する海域には、環境庁が作成した「藻類のレッドリスト」及び本県が作成した「レッドデータおきなわ」で絶滅危惧Ⅰ類及び絶滅危惧種に指定された「クビレミドロ」が生育している。（中略）したがって、当該地域については、自然環境の保護・保全に配慮するよう事業実施計画に反映されたい。

IV. 事後調査・その他に関すること（抜粋）

- (8) 工事中に貴重な動植物が確認された際は、関係機関に報告するとともに、適切な措置を講じること。

＜環境省レッドデータブック等の改訂状況＞

動物

分類群	レッドリスト 2020 (RL2020)	レッドリスト 2019 (RL2019)	レッドリスト 2018 (RL2018)
哺乳類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
鳥類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
両生類、爬虫類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
汽水・淡水魚類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
昆虫類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
陸産貝類・淡水貝類	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
その他無脊椎動物	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)

注) 上段：補遺資料の公表年月日、下段(カッコ内)：レッドリストの公表年月日

植物

分類群	レッドリスト 2020 (RL2020)	レッドリスト 2019 (RL2019)	レッドリスト 2018 (RL2018)
維管束植物 (植物Ⅰ)	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)
維管束植物以外 (植物Ⅱ)	令和 2 年 3 月 27 日 (令和 2 年 3 月 27 日)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)

注) 上段：補遺資料の公表年月日、下段(カッコ内)：レッドリストの公表年月日

＜レッドデータおきなわ (RD おきなわ) の改訂状況＞

動物

分類群	第 3 版	第 2 版	初版
哺乳類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
鳥類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
爬虫類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
両生類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
魚類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
甲殻類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
昆虫類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
クモ形類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
多足類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表
貝類	平成 29 年 5 月 17 日公表	平成 17 年 9 月公表	平成 7 年 3 月公表

出典) 沖縄県 HP

http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa_rdb_doubutu.html

植物

分類群	第 3 版	第 2 版	初版
菌類	平成 30 年 6 月 11 日	平成 18 年 3 月公表	平成 7 年 3 月公表
植物	平成 30 年 6 月 11 日	平成 18 年 3 月公表	平成 7 年 3 月公表

出典) 沖縄県 HP

http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizenhogo/hogo/okinawa_rdb_kinrui_syokubutu.html

<環境省版海洋生物レッドリスト（環境省版海洋生物 RL）の公表状況>

分類群	初版
魚類	平成 29 年 3 月公表
サンゴ類	平成 29 年 3 月公表
甲殻類	平成 29 年 3 月公表
軟体動物（頭足類）	平成 29 年 3 月公表
その他無脊椎動物	平成 29 年 3 月公表

出典) 環境省 HP「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」
<http://www.env.go.jp/press/103813.html>

<絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の公布状況>

- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令の一部を改正する政令」（令和 6 年 1 月 19 日閣議決定、令和 6 年 2 月 13 日施行）

2. 令和6年度調査における希少な動植物の出現状況

希少な動植物の出現状況は表2.1のとおりである。

令和6年度に見つかった希少な動植物は、鳥類26種、魚類18種、貝類72種、甲殻類29種、その他無脊椎動物1種、海藻草類15種の計161種であった。

表 2.1(1) 令和6年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリー	鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比羅根湿地		海藻産類		その他調査 (サンゴ・海 藻等類等)
									汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移相関 連調査	
1	カイツブリ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○									
2	リュウキュウシゴイ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○									
3	チュウサギ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○									
4	ムラサキサギ	水産庁	希少種										
5	ヘラサギ	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		環境省ROB	情報不足(DD)										
6	クロツラヘラサギ	環境省RDB	絶滅危惧ⅠB類(EN)										
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)	○									
		種の保存法	国内										
		水産庁	絶滅危惧種										
7	ツクシガモ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
8	ミスゴ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										
9	ツミ	RDおきなわ	情報不足(DD)	○									
10	サシバ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
11	ハイブサ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		種の保存法	国内										
12	ヒクイナ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)	○									
13	シロチドリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
14	ハマシギ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
15	アカアシシギ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
16	タカアシシギ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
17	ホウロクシギ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
18	コシヤクシギ	環境省ROB	絶滅危惧ⅠB類(EN)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)										
19	セイタカシギ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
		水産庁	希少種										
20	ツバメチドリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
21	ズグロカモメ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
		水産庁	絶滅危惧種										
22	ベニアジサシ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
23	エリゴアジサシ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
24	アジサシ	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	○									
		種の保存法	国際										
25	カウモミ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○									
26	コガラ(リュウキュウコガラ)	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)	○									
27	クロヘリメジロサメ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)									○	
28	オオウナギ	水産庁	減少						○	○			
29	ドロウイ	環境省RL	絶滅危惧ⅠB類(EN)										○
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠA類(CR)										
30	カマヒレボラ	環境省RL	情報不足(DD)							○			○
31	アカモドトキ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)										○
32	ヒトシハタ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										○
33	コガネシマアジ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										○
34	オキナフキチヌ	環境省海洋生物RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○	○			○
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)										
35	シクラベラ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)										○
36	ヤノメハゼ	環境省RL	絶滅危惧ⅠB類(EN)						○	○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
37	トカゲハゼ	環境省RL	絶滅危惧ⅠA類(CR)			○							
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠA類(CR)										
		水産庁	危急種										
38	トビハゼ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○	○			
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)										
		水産庁	希少種										
39	マングローブゴマハゼ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○	○			
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
40	マサゴハゼ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○	○			
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)										
41	カワクモハゼ	環境省RL	絶滅危惧ⅠA類(CR)						○	○			
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
42	アタスジノボリハゼ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)							○			
43	キララハゼ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○	○			
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)										
44	クサフグ	環境省RL	絶滅の恐れがある 地域個体群(LP)							○			
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠB類(EN)										
45	ツボミ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○	○			
46	ヒラキアマオブネ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
47	ニセヒロクチカノ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
48	ツバサカノコ(ヒロクチカノ沖縄型)	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
		水産庁	希少種										
49	キンランカノ	環境省ROB	準絶滅危惧(NT)								○		
50	ミヤコドリ	環境省ROB	準絶滅危惧(NT)							○			
51	コゲツノヱ	環境省ROB	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○	○			
52	カヤノミカニモリ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○	○			
53	イボウミニナ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○	○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
54	ヌメカワニナ	環境省ROB	準絶滅危惧(NT)							○			
55	ネジダカワニナ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
56	イボヤカワニナ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
57	フトヘナタリ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○	○			
58	ヘナタリ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○	○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
59	カワアイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○	○			
60	マドモチウミニナ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)							○			
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
61	マンガルトツボ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
62	アマミクビキレ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)							○			
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
63	エドガワミズゴマツボ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
64	オハグロガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○		○
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)										
65	ネコガイ	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				

表 2.1(2) 令和6年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリー	鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比叢根湿地		海藻帯類		その他調査 (サンゴ・海 藻等類等)
									汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植関 連調査	
66	アラゴマフダマ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					○
67	カニデムシロ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○	○				
68	ヒメオリレムシロ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
69	ヨウラクレイシダマシ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○			○		
70	ミノムシガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					○
71	コヤスツラガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
72	アンバルクチキレ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○	○				
73	ドロアワモチ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
74	ゴマセンベアワモチ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○					
75	クロヒラシメガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
76	ヘソキコシガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
77	シュンコシガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
78	カワロシガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
79	ヒゲマキシノミガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
80	ウラシマミガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
81	コハクオカミガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR-EN)						○				
82	サカキオカミガイ	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅰ類(CR-EN)						○				
83	スエヒロガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
84	ハボウキガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)							○			○
85	コオキナガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR-EN)						○				
86	ナヂムメハナ(ナヂムメ)	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅰ類(CR-EN)					○					
87	カブツキガイ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○					
88	ミナモロコガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○	○				
89	ツバニメアゲマキ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
90	コハマメアゲマキ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
91	ナタメケボリガイ	RDおきなわ	情報不足(DD)					○					
92	コシタケシジミ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
93	カゾノデモドキ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
94	リュウキュウヒルギシジミ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
95	ヤエヤマヒルギシジミ (シレナシジミ)	環境省RL	情報不足(DD)						○				
96	カワラガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
97	オキナフヒシガイ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○					
98	ユウカゲハマグリ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
99	イオウハマグリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○	○				
100	マダライオウハマグリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR-EN)					○					
101	リュウキュウアサリ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
102	ダテオキシジミ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○	○				
103	ハナグモリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○	○				
104	リュウキュウナミソコ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
105	ニッコウガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR-EN)					○					
106	ヘラサギガイ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○					
107	ヌメイチョウシラトリ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○	○				
108	ホシヤマナミノコザラ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
109	リュウキュウサビザラ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
110	ハスメザクラ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○					
111	トガリュウシオガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○	○				
112	マスオガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○	○				
113	ミナトマスオ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○					
114	アシバマスオ	環境省RL	情報不足(DD)					○					
115	イソハマグリ	水産庁	準絶滅危惧(NI)					○					
116	クシケマスオ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
117	スジホシムシ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NI)					○					
118	ミナミテナガエビ	水産庁	減少種						○				
119	マンクローブテッポウエビ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NI)						○				
120	アヒメスナモグリ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)					○					
121	トゲスナモグリ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)					○					
122	ノボスナモグリ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)					○					
123	オトメスナモグリ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)					○					
124	オキナワアナジャコ	水産庁	減少種						○				
125	オカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
126	ムラサキオカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
127	ナキオカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
128	コムラサキオカヤドカリ	天然記念物	国指定		○					○			
129	ヒルギノボリヨコバサミ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)						○				
130	ワカサヨコバサミ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)						○				
131	アミメノコギリガザミ	環境省海洋生物RL	減少種						○				
132	リュウキュウアカテガニ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
133	フジテガニ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)						○				
134	ミゾテアシハラガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NI)						○				
135	モクスガニ	水産庁	減少傾向						○				
136	オキナフレイソガニ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
137	ミナアシハラガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NI)						○				
138	ヒメドレイソモドキ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NI)						○				
139	タイワンヒライソモドキ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NI)						○				
140	トリウミアイソモドキ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)					○					
141	ハサミカクレガニ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)					○					
142	ヒメマオサガニ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)						○				
143	タイワンヒメオサガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NI)						○				
144	ホルトハウスオサガニ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NI)						○				
145	メナオサガニ	環境省RL	準絶滅危惧(NI)						○				
146	シオマネキ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅰ類(CR)						○				
		水産庁	減少種										

表 2.1(3) 令和 6 年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリー	鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比屋根湿地		海藻草類		その他調査 (サンゴ・海 藻等類等)
									汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植開 連調査	
147	カタゴシロ	RDおきなわ	情報不足(DD)					○					
148	ヤハネモク	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										○
149	クビレミドロ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
		環境省RL	絶滅危惧 I 類(CR-EN)				○						
150	クビレズタ	RDおきなわ	絶滅危惧 II 類(VU)										
		水産庁	絶滅危惧種										
151	ウスガサネ	環境省RL	情報不足(DD)										○
		環境省RL	絶滅危惧 II 類(VU)										○
152	ホソエガサ	RDおきなわ	絶滅危惧 I 類(CR-EN)										
		環境省RL	絶滅危惧 I 類(CR-EN)										
153	カサノリ	RDおきなわ	絶滅危惧 II 類(VU)										
		水産庁	絶滅危惧種										
154	リュウキュウスガキ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
155	ウミビルモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
156	ウミジグサ(ニラウミジグサ)	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
157	マツバウミジグサ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
158	ホソバウミジグサ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)								○	○	
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
159	ベニアマモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
160	リュウキュウアマモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
		環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
161	ボウバアマモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○		

分類	総種数	各調査での出現種数									
		鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比屋根湿地		海藻草類		その他調査 (サンゴ・海 藻等類)
						汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植開 連調査		
鳥類	26種	26	0	0	0	0	0	0	0	0	
魚類	18種	0	0	1	0	0	8	11	0	7	
貝類	72種	0	0	0	0	43	42	0	4	4	
甲殻類	29種	0	4	0	0	8	17	0	1	0	
その他無脊椎動物	1種	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
海藻草類	15種	0	0	0	1	6	0	0	7	6	
合計	161種	26	4	1	1	58	67	11	12	14	

注) 表中の貴重種の指定状況における凡例を以下に示した。ただし、以下の凡例には表内に出てこない区分も示した。

- 天然記念物『昭和25年法律第214号「文化財保護法」』
 特別：国指定特別天然記念物
 天然：国指定天然記念物
 県：県指定天然記念物
 市町村：市町村指定天然記念物
- 種の保存法『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年6月5日 法律第75号）』
 国内：（国内希少野生動植物種）本邦に生息し又は生育する絶滅の恐れのある野生動植物の種。
 国際：（国際希少野生動植物種）国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種。
- 環境省改訂版RL『「レッドリスト2020の公表について」(環境省, 2020年)』
 EX：絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR+EN：絶滅危惧I類：絶滅の危機に瀕している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
 CR：絶滅危惧IA類：絶滅の危機に瀕している種 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：絶滅の危機に瀕している種 - IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：絶滅の危険が増大している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
- 環境省海洋生物RL『「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」(環境省, 2017年)』
 EX：絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR：絶滅危惧IA類：絶滅の危機に瀕している種 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：絶滅の危機に瀕している種 - IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：絶滅の危険が増大している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
- 水産庁RDB『「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」(水産庁, 2000年)』
 絶滅危惧種：絶滅の危機に瀕している種・亜種。
 危急種：絶滅の危険が増大している種・亜種。
 希少種：存続基盤が脆弱な種・亜種。
 減少種：明らかに減少しているもの。
 減少傾向：長期的に見て減少しつつあるもの。
- 改訂・沖縄県RDB『「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-動物編-」(沖縄県, 2017年)』
 改訂・沖縄県RDB『「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（植物編）-レッドデータおきなわ-」(沖縄県, 2018年)』
 EX：絶滅：沖縄県ではすでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：沖縄県では飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR+EN：絶滅危惧I類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県では現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
 CR：絶滅危惧IA類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県ではIA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：沖縄県では絶滅の危険が増大している種 - 沖縄県では、現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：沖縄県では存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

3. 希少な動植物に対する対応方針

事業者としては、事業の実施にあたって環境影響評価書を作成し、埋立予定地内の環境は喪失することになるが、埋立予定地以外の環境に対して極力工事の影響を少なくし、埋立予定地以外の環境を保全していくものと考えている。よって今後も、これまで行ってきた干潟生物生息監視調査などの各種調査を通じてモニタリングを継続するとともに、埋立予定地以外の周辺環境の保全に努めていくこととする。

